令和8年度　1学期学校評価結果（7月実施）

領域	項目	質問内容	アンケート結果（肯定的割合・%） 児童生徒	保護者
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	93	96
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	86	95
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	87	90
		挨拶をよくしている	91	89
		「あ・は・は運動」を知っている（小学校のみ）	80	73
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94	93
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	83	85
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	90
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	96	87
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	91	90
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	90
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92	95
		家庭学習の習慣が身に付いている	89	86
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	91	85
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	92	
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	92	91
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん（基本的生活習慣）が身に付いている	86	86
		体力向上に努めている	91	90
	食育	食に関する教育活動を行っている	90	91
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	95
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	90
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	91	93
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している		
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	95	91

学校評価を受けての具体的な取組（２学期）

１.学習面における具体的な取組，改善のための視点

◎　基礎基本の定着と学力の底上げ

（１）家庭学習の質と量の検討　(宿題＋自学)

・家庭学習の記録

・目標時間の明示

家庭学習　１５分×学年＋１５分

（２）「大園小学びのスタンダード」の遂行

めあて・・・・授業後の自分の姿　まとめとの相関

自力解決・・「～だから～だ。」→根拠を明確に

※既習事項、経験値を生かす（レディネス）

協働学習・・共通点、相違点に注目して聞く。支持的風土。

まとめ・・・どの子も落とし込める表現で。

ふりかえり・・わたがし　自分の学びの過程や変容、見通し、評価

（３）各学年の学力向上プランの遂行と検証（今年度校内研究の肝）

評価資料でプラス一問正答を　プラス５点、１０点

２.生活面における具体的な取組，改善のための視点

◎　５つの「あ」＋「あ」を合言葉に徹底指導

○あいさつ（名前を付けて）　○あいての気持ち（ふわふわ言葉）

○あるき方（はさみあるき）　○あとしまつ（スリッパ並べ）

○あじさい掃除　→　あたりまえに！！

毎日自己評価・学級評価

◎一人一人に寄り添う「生活アンケート」「個人面談」の実施

（１）アイアイ（愛愛）コミュニケーションで、その日その時即対応。

（２）子どもから原因を聞き（書かせ）、なぜ指導するのか理由を伝える。

（３）「見守る姿で」安心感を！！「信頼する言葉掛けで」充実感を！！

（４）アンケート結果等、気になる点は管理職や主任会へ報連相。

生活アンケートの完全実施、結果分析即対応

何もしなければ変わらない。

変えたければ何かをやってみる。

「**みんな**でつくる　大園小」

教職員みんなで目標を共有し
教職員みんなで考え，協働し
教職員みんなで実践する

→ **「共有と協働」**

校長として

２学期に、先生方みんなで見たい子どもの姿

◇人の話をしっかり聞く。・・・目、耳、心

◇自分の考えを、根拠をもって話す。・・・「～だから～」「わけは～」

◇「折り合いをつける」ことができる・・・自分の思いも相手の思いも大切

２学期に、子どもたちに見せたい教職員の姿

◇「先に動く」「後を見届ける」。・・・率先垂範と評価の言葉かけ

◇「近く」も「遠く」も、すべての子どもを大切にする。・・・学級づくり

◇笑顔いっぱい、元気いっぱい・・・和話輪